

報道関係者各位

家庭教師のトライからのお知らせ

財務体質の改善を目指して三井住友銀行を主幹事とするシンジケートローンとシンジケートコミットメントラインの組成をいたしました。

「家庭教室のトライ」を全国展開する株式会社トライグループ（東京本社：東京都千代田区飯田橋1-10-3、代表取締役社長：二谷友里恵、以下当社）は、この度、平成17年12月30日付けで28億6千万円のシンジケート契約を締結し、同契約に基づく第一回目の借入を1月31日付に行う。契約の内訳は1年間の契約期間中いつでも運転資金の借入が可能なコミットメントライン16.6億円と借入期間4年間のシンジケートローン12億円。三井住友銀行が主幹事、商工組合中央金庫が副幹事を務め、三菱東京UFJ銀行（旧UFJ銀行）、りそな銀行、横浜銀行、東日本銀行、東京都民銀行が参加。

本件シンジケート契約の導入にあわせ、現預金の取崩しによる有利子負債の返済を実施することで、有利子負債は一旦シンジケート契約のみに集約されるが、このような形でのシンジケート導入は予備校・塾業界や家庭教師派遣業界を通じ当社が初めてのケースとなる。バランスシートのスリム化による財務体質の改善効果があるほか、期中の支払利息を抑えることが可能になる。

当社は、昨年4月の社長交代を期に、株式公開を視野に入れつつ社内管理体制の整備にも力を注いでいる。その一環として、「市場型間接金融」と呼ばれ開かれた資金調達手法とされるシンジケート方式の導入を通し、経営の透明性を高めると共に、金融機関の支援体制の強化を進める。財務内容や事業戦略・事業計画の積極的な開示を通し、債務返済力をアピールし、銀行団に受け入れられた。

※ シンジケートローン

一つの企業に複数の金融機関が、同一の契約書に基づき、同一の条件で融資するローン契約形態。これまでの相対型の融資取引と、社債等の直接調達の中間的な資金調達手法。

【株式会社トライグループ 受付窓口】

経理部取締役部長 荻野 慎也

TEL：03-5211-3007

FAX：03-5215-0525